

2018年12月14日

愛知製鋼株式会社

## 愛知製鋼グループ社員が「竹林ぼらんていあ」に参加

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、12月2日（日）、愛知県美浜町において、竹林整備ボランティア活動として、「竹林ぼらんていあ」を開催し、社員やその家族など総勢27名が参加しました。

当社と同じ愛知県の知多半島に位置する美浜町では、現在外来種の孟宗竹の放置竹林が急増し、既に町の森林面積の4分の1を占めるまでに至っており、自然生態系への悪影響が懸念される深刻な地域課題となっています。当社は、この課題解決に取り組む「美浜町竹林整備事業化協議会」（愛称：モリビトの会）の活動に賛同し、同会と協同で伐採作業などの整備活動を継続的に実施していくことになりました。

当日は、モリビトの会のメンバーとともに、過剰に密集する竹の伐採や伐採した竹の切断、枝払い、炭焼きを行い、伐採した竹で作ったお皿で昼食を食べた後、処理した竹を竹炭や竹チップに加工するなど、竹の有効活用を行いました。なお、この地区の竹材は当社の中新田緑地ですすめているビオトープの整備でも活用しています。

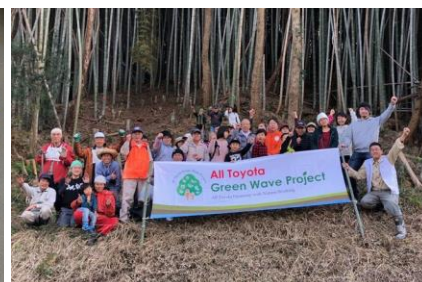
今後も当社は、グループ一体となって積極的に社会貢献活動を推進することで、いつまでもこの地にあり続けてほしいと思っただけの企業への年輪的成長を目指していきます。



協力して密集する竹を間引き、健全な森林の育成を促す作業を行いました



竹の器で昼食を取りました



多くのグループ社員が参加しました